

航空気象群基地業務隊

その3

最終回となる第3回目は、基地のあらゆる物品を管理補給する「補給小隊」、官用車の運行や基地全体の警備等を行う「管理小隊（輸送班・警備班）」、給与支払い等にお金を係る業務を担う「会計小隊」、基地のお医者さん「衛生小隊」をご紹介します。

多忙な中、快く取材を受けて下さった基地業務隊長をはじめ各小隊長、班長、隊員の皆さま、企画段階からお世話になった航空気象群本部監理部の皆さまに感謝申し上げます。

少数精鋭でやっています

補給小隊

小隊長 藤元孝敏 1空尉



物品のチェック中 左が藤元1尉

「基地にある物品は基本、ボールペンから車両まで、基地のあらゆる物品の補給を担っているのが補給小隊だ。小隊長の藤元1尉は、幹部任官前は警戒管制レーダーの整備員だった。部品の補給に請求する側だったから、「補給がなければ成り立たない」と説得力を持って話すことができる。「この物品が一体何で送った先でどう役に立つのかを知ることも大切だ」と強調する。「よくわからないものをどこかに送っている、では補給という仕事にやりがいを感じないのでは」と、若い隊員には部隊研修もさせている。



フォークリフトで物品を運搬している様子

変化へ柔軟に対応

会計小隊

小隊長

高橋宏樹 1空尉



会計小隊の仕事は大きく分けて3つ。各種物品・役務工事等の契約業務を行う「契約」。隊員の俸給・各種手当の計算や認定補助を行う「給与」。それらを包摂して代金の支払いや実際に金銭を扱う「会計」。お金の流れは非常に重要で、ミスは許されません。逆も当然です。高橋1尉は、2年間は各種法令規則を覚えるのに四苦八苦したそう。今では班長として「自衛隊のものだけではなく、各種関係官庁の規則も含めて対応」を掲げ、「プラト」に任官して「会計」に職種変更したが、最初の2年間は「自衛隊人生をスタート。周囲から常に、航空自衛官・会計職員・幹部自衛官として見られている」と自覚することで、コンプライアンスへの意識を維持しています。と班員に指導する立役者だ。

金に関わる分野で部隊や基地を支えている。「給料や旅費の支払いは隊員の生活に直結している。間違いや遅れは許されません」。小隊長の高橋1尉は、いつも正確かつ速い対応を心掛けている。

そのために小隊長方針として「公私の充実と変化への対応」を掲げ、「プラト」が充実しないと仕事も上手くいきません。逆も当然です。高橋1尉は、2年間は各種法令規則を覚えるのに四苦八苦したそう。今では班長として「自衛隊のものだけではなく、各種関係官庁の規則も含めて対応」を掲げ、「プラト」に任官して「会計」に職種変更したが、最初の2年間は「自衛隊人生をスタート。周囲から常に、航空自衛官・会計職員・幹部自衛官として見られている」と自覚することで、コンプライアンスへの意識を維持しています。と班員に指導する立役者だ。

コンプライアンスを常に意識

会計小隊

会計班長 大磯智廣 1空尉



大磯智廣1空尉の肖像写真

3つの班のうちのひとつとして、コンプライアンス（法令遵守）の知識がないと違反行為に繋がる恐れがあります。周りが常に、航空自衛官・会計職員・幹部自衛官として見られていると自覚することで、コンプライアンスへの意識を維持しています。と班員に指導する立役者だ。

余裕を持ち、チャレンジし、変化に対応

衛生小隊

小隊長 村原中3空佐



村原中3空佐の肖像写真

話を聞いた小隊長室には、任した6月からめくられていない。「普段は皆と同じ事務所になります。その方が午後は各種の「身体検査」を行っている。医師の村原3佐をはじめ看護師、救命士、薬剤師等がそろった後援施設に。映画館を貸し切って大好きな「ゴッドファーザー」3部作を観るのが夢。

仕事を円滑に進められずから。それと「部下」ではなく「同僚」だと思ってい「ます」と話す小隊長がいる。事務所はいつも明るい。

衛生小隊の1日は忙しい。午前中は体調不良等の隊員等へ「診療」を行い、午後は各種の「身体検査」を行っている。医師の村原3佐をはじめ看護師、救命士、薬剤師等がそろった後援施設に。映画館を貸し切って大好きな「ゴッドファーザー」3部作を観るのが夢。

体調の小さな変化も見逃さない

管理小隊

小隊長 日高直人 1空尉



管理小隊の隊員が制服を着て立っている様子

管理小隊は官用車の運行 全体の警備等を行う「警備班」と「輸送班」と「基地班」からなる。一見異なる等を行う「輸送班」と「基地班」からなる。一見異なる

業務だが、管理小隊長の日高1尉は、「輸送と警備の両方を見ているが、目が届かない部分は、部下である警備班長、上司である基地業務隊長や航空気象群本部からフォローアップを組織的にしっかりと行っている。日高1尉の職種は「輸送班」で、安全意識の低下は許さず。日高1尉の職種は「輸送班」で、安全意識の低下は許さず。日高1尉の職種は「輸送班」で、安全意識の低下は許さず。

先任としてあるべき姿を見せる

管理小隊 輸送班

輸送班先任空曹 澁谷亮太 1空曹

輸送員 照屋清太 2空曹

輸送員 柴田 椿空士長



管理小隊の隊員が輸送班の先任空曹澁谷亮太1空曹と輸送員照屋清太2空曹、柴田椿空士長と写真撮影している様子

輸送班で先任空曹を務める澁谷1曹は、面倒見の良い兄貴的存在だ。航空支援

支援を担当する柴田士長は「相談にも乗ってくれていて来てくれるはず」と背優しいです」と頼りにしている。中を見せれば後輩を育てていける。今後の目標について聞く

「見てもらっているがモチベーションに

管理小隊 警備班

班長 川下和敏 1空尉



川下和敏1空尉の肖像写真

「警備」の仕事と云えば基地の各門での出入門管理。令和4年12月に着任。入隊は当時お付き合いしていた奥様に渡された募集要項がきっかけ。土日は家族と買い物に出かけてリフレッシュ。



管理小隊の隊員が軽装甲機動車を運転している様子

理、基地内の巡察、武器の管理等がすぐに思いつくが、その他に基地所属部隊に対する警備訓練も行っている。警備班長の川下1尉は「府中基地は滑走路が敷地が狭いが、所在する人員は多い。基地業務についても大々滑走路を有する航空団と仕事量は大きく変わらないものの、組織の規模が「群」ではなく「隊」とは別に特長が「警備」以外であるため、基地業務に携わる人員は少ない。やり方を工夫しないと仕事は円滑に回らない」と話す。警備班も少数であり実務と裏方業務に追われ、自らを鍛える時間の確保が難しい。そこで、警備班員の練習と特別に特長が「警備」以外の隊員に対して訓練を行うことで、基地全体の警備に向上に貢献している。上の方が見てくれている。と実感することだ。川下1尉は我が事のように笑顔でそのエピソードを披露してくれた。



管理小隊の隊員がラップを演奏している様子

澁谷1曹（左）令和3年8月に先任空曹に着任。奥のユースチームに所属している。川下1尉は我が事のように笑顔でそのエピソードを披露してくれた。